

2026年10月15日（木） 送付枚数 4枚

愛知学院大学歯学部附属病院に『口腔内科外来』を新設

～「治らない口内炎」「原因不明の顔の痛み」「口の渇き」に3つの専門分野が連携して対応～

「口内炎がなかなか治らない」「歯に異常がないのに顔や口が痛い」「口が渇いて食事や会話がづらい」。このような症状は原因が多岐にわたり、一般的な歯科診療では原因の特定や適切な治療が困難な場合があります。

愛知学院大学歯学部附属病院は、このような患者さんに対する専門的な診療体制の充実を図るために新たに「口腔内科外来」を開設します。本外来では、口腔粘膜疾患・難治性口内炎、口腔顔面痛、口腔乾燥症を主要な診療分野として、口腔内科、歯科麻酔科、歯科放射線科が連携して診療を行います。さらに、必要に応じて医科診療科とも協力しながら、口腔領域のみならず全身状態も踏まえた総合的な診断・治療を提供します。

【外来概要】

- 名称：口腔内科外来
- 診療場所：愛知学院大学歯学部附属病院（名古屋市千種区末盛通2-11）
- 診療体制：紹介予約制

【口腔内科外来が担う3つの専門分野】

1. 難治性口内炎・口腔粘膜疾患分野

「何週間も口内炎が治らない」「薬を塗っても繰り返す」「口の中が白くなったり、ただれたりしている」などの症状の背景には、免疫異常や感染症に加え、将来的にがん化する可能性を有する前がん病変（口腔潜在的悪性疾患：OPMD）が存在することがあります。

本外来では、通常の口腔検査に加え、自家蛍光観察などの診断技術を活用し、肉眼では捉えにくい異常の早期発見に努めます。また、病態を的確に診断したうえで、ステロイド製剤を用いた局所療法や専用マウスピースを利用した薬剤投与など、患者さん一人ひとりの状態に応じた治療を行います。さらに、難治性の口腔粘膜疾患や前がん病変に対しては、病態に応じた専門的治療を行い、口腔がんの予防と早期発見・早期対応につなげます。

2. 口腔顔面痛分野

歯科治療を受けても痛みが続く、あるいは複数の医療機関を受診しても原因が明らかにならない歯・顎・顔面の痛みを対象とします。詳しい問診と診察を行い、歯や口腔内の疾患だけでなく、神経や筋機能の異常なども含めて多面的に評価し、痛みの原因を明らかにして診断を行います。

病態に応じて、薬物療法、生活指導、理学療法、神経ブロック療法などを組み合わせた治療を行います。また、咀嚼筋の過緊張や筋・筋膜性疼痛などが関与する難治例に対しては、ボツリヌス療法についても治療選択肢の一つとして検討します。

2026年10月15日（木） 送付枚数 4枚

3. 口腔乾燥症（ドライマウス）分野

口腔乾燥症（ドライマウス）は、加齢や薬剤の副作用のほか、ストレス、糖尿病、シェーグレン病などの自己免疫疾患を含む、さまざまな要因によって生じます。口の渇きだけでなく、食事や会話、嚥下に支障を来し、日常生活の質を低下させることもあります。本外来では、詳しい問診と口腔内診察に加え、サクソテストやガムテストによる唾液分泌機能検査、血液検査、超音波検査やCT検査などを組み合わせ、原因を総合的に評価します。特にシェーグレン病が疑われる場合には、必要に応じて医科や関連医療機関と連携し、早期診断につなげます。診断後は、原因や症状に応じて保湿療法、口腔衛生指導、薬物療法を行うほか、適応を慎重に判断したうえで唾液腺洗浄も検討します。口腔乾燥に伴う不快症状の軽減を図り、生活の質（QOL）の維持・向上を目指します。

【本外来の特徴】

1. 診療科の枠を越えた「口腔内科」という受け皿

従来の処置中心の歯科診療だけでは対応が難しい口腔症状に対し、症状の背景にある全身疾患、薬剤、心理社会的要因なども考慮し、専門的・包括的に評価します。

2. 医科歯科連携による総合的な診療

糖尿病、膠原病、免疫疾患など全身疾患との関連が疑われる場合には、必要に応じて医科診療科と連携します。口腔の症状を入口として、適切な診断と治療につなげることを目指します。

3. 新たな治療選択肢への取り組み

標準的な診断・治療を基盤としながら、難治例に対する新たな治療法についても、適応、安全性、科学的妥当性、患者さんへの十分な説明と同意、院内で必要な手続きを踏まえて慎重に導入を検討します。

【なぜ今、「口腔内科」なのか】

高齢化や全身疾患の複雑化に伴い、口腔の症状も多様化しています。難治性の口内炎、慢性的な口腔顔面痛、口腔乾燥症などでは、複数の要因が関与し、受診すべき診療科が分かりにくい場合があります。本外来は、こうした診断・治療が難しい症例を専門的に受け入れ、必要な検査や他科との連携を通じて、患者さんを適切な診断・治療へつなぐ役割を担います。

【地域医療への貢献】

地域の歯科医院や医療機関から、診断が難しい口腔粘膜疾患、原因不明の口腔顔面痛、持続する口腔乾燥症などを受け入れ、大学病院の専門性を生かした診療を行います。また、口腔がんや前がん病変が疑われる症例については、早期発見と適切な専門診療への橋渡しを行います。地域の医療機関と役割を分担しながら、口腔疾患の診療支援体制の充実を目指します。

【今後の展開：地域とともに歩む「ZEN力」】

愛知学院大学が培ってきた教育・臨床・研究の力を結集し、口腔内科外来を地域における新たな口腔医療の受け皿として育てていきます。創立150周年を新たな出発点とし、地域の歯科医院、医療機関、大学病院がそれぞれの専門性を生かして連携することで、これまで十分な支援につながりにくかった患者さんに適切な医療を届け、地域医療のさらなる充実に貢献してまいります。

報道関係各位

【取材依頼】

PRESS RELEASE



〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池12
TEL:0561-73-1111 URL <http://www.agu.ac.jp>



2026年、愛知学院は創立150年を迎えました。

2026年10月15日（木） 送付枚数 4枚

【本件に関するお問い合わせ先】

<新設外来の詳細についてのお問い合わせ>

○難治性口内炎・口腔粘膜疾患分野

愛知学院大学 歯学部 口腔内科・口腔病態制御学講座 阿部 厚 教授

Tel：052-759-2158 E-mail：atsushia@dpc.agu.ac.jp

○口腔顔面痛分野

愛知学院大学 歯学部 麻酔・歯科麻酔疼痛制御学講座 佐藤曾士 教授

Tel：052-759-2102 E-mail：bokuaiji@dpc.agu.ac.jp

○口腔乾燥症（ドライマウス）分野

愛知学院大学 歯学部 歯科放射線学講座 木瀬祥貴 教授

Tel：052-759-2165 E-mail：kise@dpc.agu.ac.jp

<当日の取材に関するお問い合わせ・申込先>

愛知学院大学 総務部総務課 小川、古谷、寺倉

Tel：0561-73-1111 E-mail：somu@dpc.agu.ac.jp

※取材にお越しいただける場合、別紙来訪申請書をご記入いただき、上記申込先までメールにてご提出ください。